



新型コロナウイルス感染拡大が在日華人に与える影響に関する調査の結果報告 全回答者、労働者、中国人留学生の集計結果

著者	滕 媛媛
雑誌名	TERG Discussion Papers
号	431
ページ	1-34
発行年	2020-09-07
URL	http://hdl.handle.net/10097/00129605

TERG

Discussion Paper No.431

新型コロナウイルス感染拡大が在日華人に与える影響
に関する調査の結果報告
—全回答者、労働者、中国人留学生の集計結果—

藤 媛媛

2020 年 9 月 7 日

TOHOKU ECONOMICS RESEARCH GROUP
Discussion Paper

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS AND
MANAGEMENT TOHOKU UNIVERSITY
27-1 KAWAUCHI, AOBA-KU, SENDAI,
980-8576 JAPAN

新型コロナウイルス感染拡大が在日華人に与える影響に関する調査の結果報告¹

—全回答者、労働者、中国人留学生の集計結果—

滕 媛媛²

目 次

I. 調査概要	2
II. 調査結果の概要（抜粋）	3
III. 全体集計結果（全体・男女別）	6
IV. 労働者の集計結果（全体・雇用形態別）	15
V. 留学生の集計結果	20
VI. 調査票 ³ （日本語訳）	26

1 本調査は、東北大学経済学研究科研究倫理審査委員会の審査を受け、東北大学東北アジア研究センター共同研究「新型感染症の発生がもたらす社会的格差の拡大：マイノリティグループに着目して」の支援によって行われた。本調査に協力してくださった皆様に心からの感謝を申し上げます。

2 東北大学 東北アジア研究センター 助教 yuanyuan.teng.d7@tohoku.ac.jp

3 本調査の設計および実施において、東北大学大学院経済学研究科 増田聡教授、華中師範大学 顧江淮教授、藍野大学竹本圭介助教からアドバイスをいただいた。心より御礼を申し上げます。

I. 調査概要

1. 調査目的と内容

新型コロナウイルスの感染は、震源地である中国武漢で拡大してから、世界的に大流行し、人々の生活に多大な影響を与えている。この中、移民、外国人労働者、留学生などのマイノリティグループが受けた打撃がより大きいと考えられる。2019 年 12 月における在日外国人は 293.3 万人である。このなかで、中国出身者は 81.4 万 (27.8%) と最も多い。本調査は、在日華人に着目し、新型コロナウイルス感染拡大が彼らの生活、仕事、行動に与える影響を把握することを目的とする。

本調査の内容は、① 基本属性(性別・年齢・在留状況・学歴・世帯属性・居住地・在日年数・就労状況など)、② 生活・仕事⁴・心理における変化(収入・職場環境(テレワーク)・不安感・差別経験・移動制限の影響・今後の日本での生活意識など)、③ 3 月～6 月における行動の変化(在宅時間・出社頻度・公共交通機関の利用・公園の利用・スーパーの利用・外食・娯楽の頻度など)からなる。

2. 調査方法

中国調査サイト「問巻星」(<https://www.wjx.cn/>)にて調査票を作成し、調査リンクを在日華人オンライン・コミュニティにて配布し、回答者を募集した。謝礼は一人当たり 5 元であった(約 80 円)。

3. 調査期間

本調査: 6 月 30 日～7 月 6 日

追加調査: 7 月 12 日～7 月 18 日 (関西・九州を中心に追加配布を行った)

4. 回収状況

回収数: 793 票 (本調査 491 票、追加調査 302 票)

有効回答数: 744 票 (本調査 446 票、追加調査 298 票)

調査リンクのクリック回数: 2,394 回(本調査 1,685 回、追加調査 709 回)

4 仕事や収入に関する設問の一部は、独立行政法人労働政策研究・研修機構による「新型コロナウイルス感染拡大の仕事や生活への影響に関する調査」を参考したものである。

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 収入・仕事への影響

新型コロナウイルス感染症に関連した、雇用や収入に関わる影響について尋ねたところ、中国人⁵労働者 (N=581) のうち、「大いに影響があった」は 36.6%、「ある程度影響があった」は 36.4% であり、影響があったと回答した割合は 7 割を超えた (表Ⅳ-11)。雇用形態からみると、影響が特に大きいのは、「経営者・役員」 (N=35, 97.2%)、「自営業・フリーランス」 (N=30, 96.7%)、「パート・アルバイト」 (N=141, 82.3%) であった。国籍・在留資格からみると、「大いに影響があった」と回答した割合が最も高いのは「日本人の配偶者等」 (n=29) の 51.7% であった。次に高いのは、「留学」 (n=79) の 46.8% であった。一方、「大いに影響があった」と回答した割合が最も低いのは、「高等専門職」 (n=28) の 14.3% であった (表Ⅳ-11-1)。

具体的な影響 (複数回答) において、「収入の減少」の割合が最も高く、48.1% と約半数であった。次に割合が高いのは、「勤務日数や労働時間の減少」の 38.0%、「業務内容の変更」の 17.1%、「勤め先の休廃業・倒産に伴う失業」の 4.5% であった (表Ⅳ-12)。

中国人労働者の収入の変化において、通常時と比べて 4 月の月収額が 5 割以上減少した回答者は 27.9% であった。収入の減少が特に大きいのは「パート・アルバイト」、「経営者・役員」、「自営業・フリーランス」であり、5 割以上減の割合がそれぞれ 51.8%、51.4%、50.0% であった (表Ⅳ-13)。国籍・在留資格からみると、4 月の月収額が 5 割以上減少した中で割合が最も高いのは、「留学」 (n=79) の 54.4%、次に高いのは、「家族滞在」 (n=22) の 50.0% と「日本人配偶者等」 (n=29) の 48.3% であった。一方で、収入の変動が少なく、「ほぼ同じ (変動は 1 割未満)」を回答した割合が最も高いのは、「高等専門職」 (n=28) の 89.3%、次に高いのは、「技術・人文知識・国際業務」 (n=171) の 63.7% と日本国籍帰化者 (n=35) の 57.1% であった。

仕事では不特定多数の人と接する必要があったかを尋ねたところ、41.8% の労働者は必要だと回答した。割合が最も高いのは、「パート・アルバイト」 (n=141) の 58.2% であった。一方で、割合が最も低いのは、「契約・派遣・嘱託社員」 (n=88) の 29.5% であった (表Ⅳ-6)。

在宅勤務・テレワークの実施について尋ねたところ、緊急事態宣言が発令された 4 月～5 月において、51.1% の中国人労働者は実施したと回答した。割合が特に高いのは「正社員・職員」の 64.8%、「経営者・役員」の 62.9% であった (表Ⅳ-14)。また、4 月、5 月における出社・出勤頻度において、64% の労働者は約 3 割以上減少したと回答した (表Ⅳ-9)。雇用形態からみると、出勤頻度が最も減少したのは「パート・アルバイト」 (67.4%)、「正社員・職員」 (64.8%)、「自営業・フリーランス」 (63.3%) であった (表Ⅳ-9)。

5 日本国籍に転換した華人 35 人および国籍について「その他」と回答した 1 人を含む。以下同様。

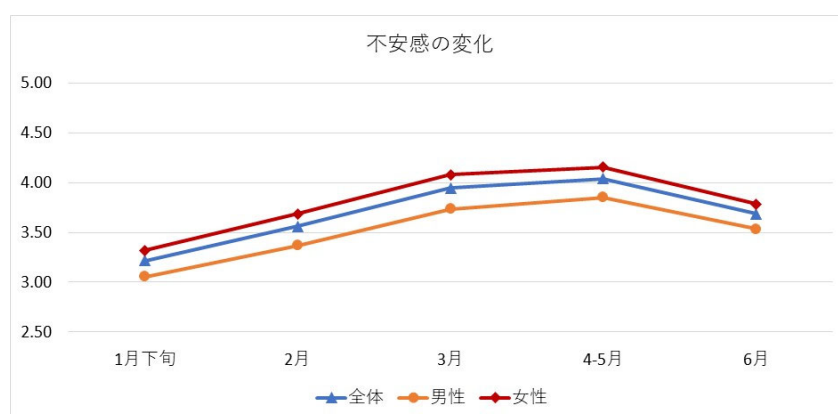
2. 生活・心理への影響

本年2月から日中間のフライトの多くが欠航となり、3月には中国が日本の入国制限対象地域となった。全有効回答者（N=744）に、日本と中国を自由に移動できないことは生活に影響があったかを尋ねると、「大いに影響があった」は34.8%、「ある程度影響があった」は36.4%であり、影響があったと回答した割合は7割を超えた（表Ⅲ-B-1）。性別でみると、影響があったと回答した男性と女性の割合はそれぞれ67.5%と73.6%であった。一方、「全く影響はなかった」と回答した割合は、全体、男性、女性がそれぞれ8.9%、13.1%、6.2%であった。

新型コロナウイルス感染拡大前後（2019年12月と2020年7月）では、将来日本で生活することに関する意識にも変化があった。2019年12月に「日本で生活したい」、「少しは日本で生活したい」と回答した割合の合計は47.2%であったが、2020年7月では34.8%に減少した。男女でみると、男性は48.1%から38.5%に減少したのに対し、女性は46.7%から32.9%に減少した（表Ⅱ-B-11）。

新型コロナウイルスに関連して、外国人を理由に差別された経験について尋ねたところ、744人中105人（14.0%）は「ある」と回答した（表Ⅱ-B-7）。差別内容に関する自由記述において、公共の場で中国語を使用する際に避けられる経験が多かった。新型コロナウイルス発生後、12.8%の回答者は「公共の場で中国語を使用したくない」と感じていた（表Ⅱ-B-9）。なお、34.0%の回答者は「マスクを購入できない日本人に対して申し訳ない」と感じていた。

本年1月下旬から6月にかけて新型コロナウイルス感染拡大に対する不安感について尋ねたところ、1月下旬における「不安だった」（「とても不安だった」または「やや不安だった」）の回答の割合は41.7%、2月では55.5%、3月では70.7%、4-5月では73.8%に増加した（表Ⅲ-B-8）。6月に緊急事態宣言が解除され、「不安だった」の割合が58.9%に減少した。不安感の平均値の推移を図Ⅱ-1に表している⁶。全期間において、女性は男性より不安感が強い傾向があった。



図Ⅱ-1 不安感の平均値の推移

⁶ 「とても不安だった」を5点、「やや不安だった」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり不安ではなかった」を2点、「不安ではなかった」を1点とした。

3. 行動における変化

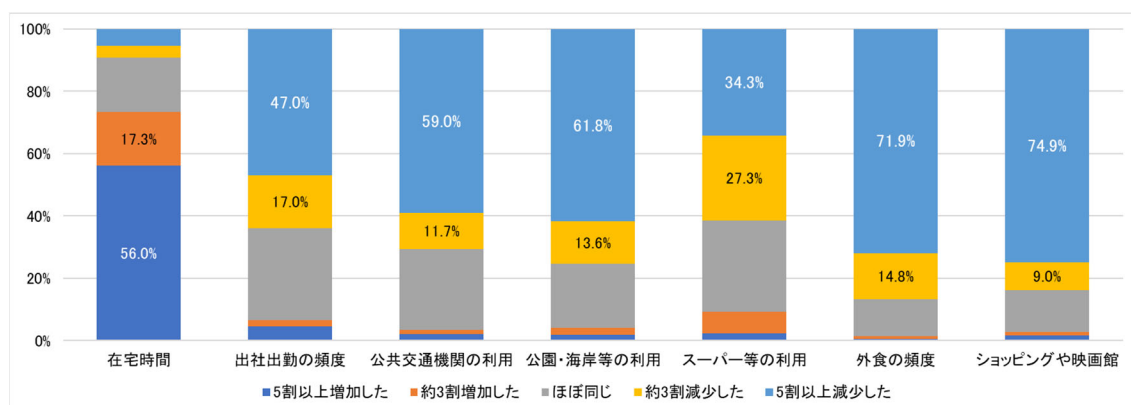
本年1月のごく普通の一週間と比べたときの、在宅時間、出勤・通勤頻度、公共交通機関の利用頻度、公園・広場・海岸などに行く頻度、スーパーやドラッグストアの利用頻度、外食（カフェを含む）頻度、娯楽（ショッピングや映画館など）の頻度の変化について尋ねた（表Ⅲ-C）。

在宅時間において、3割以上増加した（「約3割増加した」または「5割以上増加した」）との回答は、3月では56.7%、4-5月では73.4%、6月では57.8%であった。在宅時間が3割以上増加したとの回答において、男女の差は3月では10%であったが、4月以降は3.5%に減少した。

公共交通機関の利用頻度において、3割以上減少したとの回答は3月では56.6%、4-5月では70.7%、6月では62.9%であった。公園、広場、海岸などに行く頻度において、3割以上減少したとの回答は、3月では68.3%、4-5月では75.4%、6月では71.1%であった。

スーパーやドラッグストアの利用頻度において、3割以上減少したとの回答は、3月では53.9%、4-5月では61.6%、6月では54.4%であった。一方、3割以上増加したとの回答は、3月では7.9%、4-5月では9.3%、6月では8.1%で、他の外出行動と比べてやや高い傾向であった。家にいる時間が長くなることおよび外食の頻度が減少したことに関係して、スーパーやドラッグストアの利用頻度が増えることもある。

外食頻度において、3割以上減少したとの回答は、3月では78.1%、4-5月では86.7%、6月では80.8%であった。ショッピングや映画館の利用などの娯楽の頻度において、3割以上減少したとの回答は、3月では77.6%、4-5月では83.9%、6月では80.2%であった。外食および娯楽の頻度は、3月以降に減少が最も大きく、緊急事態宣言が解除された6月においても大きな回復傾向がなかった。



図Ⅱ-2 緊急事態宣言期間（4-5月）における行動の変化

Ⅲ. 全体集計結果⁷

A. 回答者の基本属性と生活経験

表Ⅲ-A-1 年代・性別

	全体	男性	女性
1 18-19 歳	0.5	1.0	0.2
2 20 代	40.7	43.3	39.1
3 30 代	39.5	36.7	41.3
4 40 代	14.2	13.1	14.9
5 50 代	4.7	5.9	4.0
6 60 代	0.3	0.0	0.4
N	744	289	455

表Ⅲ-A-2 国籍・在留資格

	全体	男性	女性
日本国籍	5.4	5.5	5.3
1 永住者・永住者の配偶者等	23.9	20.4	26.2
2 定住者	2.2	2.8	1.8
3 日本人の配偶者等	4.3	1.4	6.2
4 家族滞在	5.2	2.4	7.0
5 留学	20.8	23.9	18.9
6 技術・人文知識・国際業務	24.2	29.1	21.1
7 技能	1.1	1.7	0.7
8 技能実習	4.6	4.8	4.4
9 経営・管理	1.6	2.1	1.3
10 特定活動	0.5	1.0	0.2
11 高度専門職	3.9	3.5	4.2
12 医療	1.5	0.3	2.2
13 教授・研究・教育	0.4	0.3	0.4
15 その他	0.4	0.7	0.2
N	744	289	455

表Ⅲ-A-3 最終学歴（学生の場合は在学状況）

	全体	男性	女性
1 中学校以下	3.9	4.2	3.7
2 高校	9.5	5.9	11.9
3 大学・短大・専門学校など	51.3	54.7	49.2
4 大学院	35.2	35.3	35.2
N	744	289	455

⁷ 表中数字はNに占めるパーセントである。

表Ⅲ-A-4 婚姻状況

	全体	男性	女性
1 未婚・離死別	47.6	54.0	43.5
2 既婚	52.4	46.0	56.5
N	744	289	455

表Ⅲ-A-5 子どもの有無

	全体	男性	女性
1 有	44.4	37.7	48.6
2 無	55.6	62.3	51.4
N	744	289	455

表Ⅲ-A-6 同居者の属性（複数回答、「有」を選択した比率）

	全体	男性	女性
1. 65 歳以上の高齢者	8.9	8.0	9.5
2. 未就学児	21.2	15.2	25.1
3. 小学生	15.3	15.9	14.9
4. 中学生・高校生	9.1	7.3	10.3
5. 高血圧や糖尿病患者	6.6	5.5	7.3
N	744	289	455

表Ⅲ-A-7 日本語スキル

	全体	男性	女性
1 ネイティブレベル	7.9	8.3	7.7
2 ビジネスレベル	33.5	35.6	32.1
3 日常会話レベル	46.4	41.9	49.2
4 あまり話せない	11.0	12.8	9.9
5 全く話せない	1.2	1.4	1.1
N	744	289	455

表Ⅲ-A-8 在日年数

	全体	男性	女性
1 1 年未満	4.0	5.5	3.1
2 1～2 年	16.8	18.3	15.8
3 3～5 年	20.8	21.1	20.7
4 6～9 年	21.4	20.8	21.8
5 10～19 年	27.8	23.2	30.8
6 20 年以上	9.1	11.1	7.9
N	744	289	455

表Ⅲ-A-9 2003 年 SARS(重症急性呼吸器症候群)が中国で流行した際の居住地

	全体	男性	女性
1 中国	80.4	79.2	81.1
2 日本	19.0	19.7	18.5
3 その他	0.7	1.0	0.4
N	744	289	455

表Ⅲ-A-10 現在の居住地

	全体	男性	女性
1 北海道	0.4	0.7	0.2
2 東北	19.8	18.3	20.7
3 南関東	35.6	44.3	30.1
4 北関東・甲信	1.5	1.0	1.8
5 北陸	0.8	1.4	0.4
6 東海	14.0	7.6	18.0
7 近畿	17.5	18.3	16.9
8 中国	1.3	1.4	1.3
9 四国	0.4	0.3	0.4
10 九州	7.7	5.5	9.0
<判断不能>	1.1	1.0	1.1
N	744	289	455

表Ⅲ-A-11 就業形態

	全体	男性	女性
1 会社・団体の経営者・役員	4.7	8.3	2.4
2 正社員・職員	38.6	47.8	32.7
3 契約・派遣・嘱託社員・職員	11.8	8.7	13.8
4 パート・アルバイト	5.9	1.0	9.0
5 自営業・フリーランス	4.0	3.5	4.4
6 専業主婦・主夫	7.8	0.3	12.5
7 学生	21.5	24.9	19.3
8 無職	2.7	1.7	3.3
9 その他	3.0	3.8	2.4
N	744	289	455

表Ⅲ-A-12 【対象:就業形態に関して 6-9 と回答した方】 アルバイトの従事状況

	全体	男性	女性
1 有	37.3	42.7	34.5
2 無	50.0	44.9	52.6
無回答	12.7	12.4	12.9
N	260	89	171

表Ⅲ-A-13 【対象:労働者】仕事における不特定多数と接触する必要性

	全体	男性	女性
1 有	41.8	35.7	46.1
2 無	44.6	50.8	40.2
3 わからない	13.6	13.4	13.7
N	581	238	343

表Ⅲ-A-14 昨年の世帯収入

	全体	男性	女性
1 300 万円未満	28.4	28.7	28.1
2 300～500 万円未満	26.2	28.4	24.8
3 500～700 万円未満	12.2	12.5	12.1
4 700～900 万円未満	7.3	6.2	7.9
5 900 万円以上	7.5	10.7	5.5
6 わからない・回答したくない	18.4	13.5	21.5
N	744	289	455

B. 仕事、収入、生活、心理への影響

表Ⅲ-B-1 日本と中国を自由に移動できないことが生活に与えた影響

	全体	男性	女性
1 大いに影響があった	34.8	35.3	34.5
2 ある程度影響があった	36.4	32.2	39.1
3 あまり影響はなかった	19.1	19.4	18.9
4 全く影響はなかった	8.9	13.1	6.2
5 わからない	0.8	0.0	1.3
N	744	289	455

表Ⅲ-B-2 【対象:労働者】新型コロナウイルス感染症に関連した、自身の雇用や収入に関わる影響

	全体	男性	女性
1 大いに影響があった	34.6	35.3	34.1
2 ある程度影響があった	36.3	31.5	39.7
3 あまり影響はなかった	20.3	23.1	18.4
4 全く影響はなかった	8.4	9.7	7.6
5 わからない	0.3	0.4	0.3
N	581	238	343

表Ⅲ-B-3 【対象:労働者で「全く影響はなかった」以外を回答した方】具体的な影響 (複数回答)

	全体	男性	女性
1. 会社からの解雇	2.3	2.8	1.9
2. 期間満了に伴う失業	1.9	0.0	3.2
3. 勤め先の休廃業・倒産に伴う失業	4.5	6.0	3.5
4. 経営する事業が休廃業・倒産	3.2	3.7	2.8
5. 雇用・就業形態の変更	3.6	2.8	4.1
6. 業務内容の変更	17.1	18.1	16.4
7. 勤務日数や労働時間の減少	38.0	34.4	40.4
8. 勤務日数や労働時間の増加	3.2	2.3	3.8
9. 収入の減少	48.1	46.0	49.5
10. 収入の増加	1.7	2.8	0.9
11. 自発的な退職	3.2	3.3	3.2
12. その他	25.6	27.4	24.3
N	532	215	317

表Ⅲ-B-4 【対象:労働者】通常月の月収と比較したときの、4月の月収額の変化

	全体	男性	女性
1 9割以上減少した	10.5	9.7	11.1
2 7～8割減少した	5.5	5.9	5.2
3 5～6割減少した	11.9	11.3	12.2
4 3～4割減少した	10.3	8.4	11.7
5 1～2割減少した	9.1	9.2	9.0
6 ほぼ同じ(変動は1割未満)	50.4	50.8	50.1
7 1～2割増加した	1.7	3.4	0.6
8 3～4割増加した	0.2	0.4	0.0
9 5割以上増加した	0.3	0.8	0.0
N	581	238	343

表Ⅲ-B-5 【対象:労働者】在宅勤務・テレワークの実施(「実施した」の割合)

	全体	男性	女性
2月	15.3	16.0	14.9
3月	25.8	24.8	26.5
4-5月	51.1	55.0	48.4
6月	38.4	40.3	37.0
N	581	238	343

表Ⅲ-B-6 日本で生活した期間に、外国人を理由に差別された経験

	全体	男性	女性
1 有	32.7	37.4	29.7
2 無	45.7	45.0	46.2
3 わからない・答えたくない	21.6	17.6	24.2
N	744	289	455

表Ⅲ-B-7 新型コロナウイルスに関連して、外国人を理由に差別された経験

	全体	男性	女性
1 有	14.0	14.9	13.4
2 無	72.2	72.7	71.9
3 わからない・答えたくない	13.8	12.5	14.7
N	744	289	455

表Ⅲ-B-8 新型コロナウイルス感染拡大に対する不安感（全体）

	1 月下旬	2 月	3 月	4-5 月	6 月
1 とても不安だった	17.1	24.9	35.1	40.6	24.9
2 やや不安だった	24.6	30.6	35.6	33.2	34.0
3 どちらともいえない	32.8	26.6	21.4	18.8	30.0
4 あまり不安ではなかった	14.0	11.7	4.7	4.3	7.4
5 不安ではなかった	11.6	6.2	3.2	3.1	3.8
N	744	744	744	744	744

表Ⅲ-B-8-1 新型コロナウイルス感染拡大に対する不安感（男性）

	1 月下旬	2 月	3 月	4-5 月	6 月
1 とても不安だった	14.5	18.7	28.0	32.9	19.7
2 やや不安だった	20.1	28.4	33.6	34.3	34.6
3 どちらともいえない	35.3	30.8	26.6	22.8	31.1
4 あまり不安ではなかった	16.6	15.6	7.6	5.2	8.3
5 不安ではなかった	13.5	6.6	4.2	4.8	6.2
N	289	289	289	289	289

表Ⅲ-B-8-2 新型コロナウイルス感染拡大に対する不安感（女性）

	1 月下旬	2 月	3 月	4-5 月	6 月
1 とても不安だった	18.7	28.8	39.6	45.5	28.1
2 やや不安だった	27.5	32.1	36.9	32.5	33.6
3 どちらともいえない	31.2	24.0	18.0	16.3	29.2
4 あまり不安ではなかった	12.3	9.2	2.9	3.7	6.8
5 不安ではなかった	10.3	5.9	2.6	2.0	2.2
N	455	455	455	455	455

表Ⅲ-B-9 本年 1-6 月における感情(複数回答)

	全体	男性	女性
1. 中国における感染拡大に無力感を感じた	14.0	14.9	13.4
2. 世界で発生するアジア人に対する差別事件に憤りを感じた	55.5	52.6	57.4
3. 感染されることに恐怖を感じた	59.5	53.6	63.3
4. 日本におけるコロナの感染拡大に対して申し訳ない	15.6	16.3	15.2
5. マスクを購入できない日本人に対して申し訳ない	34.0	30.4	36.3
6. 華人であることを知られたくない	8.2	8.0	8.4
7. 公共の場で中国語を使用したくない	12.8	10.0	14.5
8. 外出自粛にストレスを感じた	22.6	15.9	26.8
9. 緊急事態宣言期間中によく孤独感を感じる	15.6	15.6	15.6
10. これからの景気を悲観している	47.4	42.6	50.5
11. 当てはまるものはない	7.4	9.7	5.9
N	744	289	455

表Ⅲ-B-10 マスクなどのコロナ対策用品の状況(複数回答)

	全体	男性	女性
1. 家にストックがあったため、コロナ対策用品の不足にあまり困っていなかった	54.3	58.5	51.6
2. マスクなどのコロナ対策用品が品薄になっていたため、購入に困っていた	22.3	18.7	24.6
3. 1 月に中国でコロナが流行し始めた際、予備のコロナ対策用品を購入した	29.6	28.0	30.5
4. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品を送ってほしいと依頼された	31.5	26.3	34.7
5. 自ら中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品は必要かと聞いた	34.8	30.4	37.6
6. 中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品を送った	37.2	30.4	41.5
7. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品は必要かと聞かれた	7.7	7.3	7.9
8. 中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品を送ってもらうように依頼した	37.6	29.4	42.9
9. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品を送ってもらった	20.6	19.0	21.5
10. 当てはまるものはない	2.6	3.1	2.2
N	744	289	455

表Ⅲ-B-11 【対象:日本国籍取得者および技能実習生以外の方】将来日本で生活することに関する意識

	2019 年 12 月			2020 年 7 月		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1 日本で生活したい	36.8	36.1	37.1	29.2	33.7	26.9
2 少しは日本で生活したい	10.4	12.0	9.6	5.6	4.8	6.0
3 どちらでも大丈夫	38.0	37.3	38.3	38.4	37.3	38.9
4 あまり日本で生活したくない	4.4	7.2	3.0	9.6	9.6	9.6
5 日本で生活したくない	1.6	2.4	1.2	5.6	7.2	4.8
6 わからない	8.8	4.8	10.8	11.6	7.2	13.8
N	250	83	167	250	83	167

※追加調査における新規設問

C. 新型コロナウイルス感染拡大期間(3月～6月)における行動の変化

表Ⅲ-C-1 本年1月のごく普通の一週間と比べたときの在宅時間

	3月			4-5月			6月		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1. 5割以上増加した	41.4	37.0	44.2	56.0	55.4	56.5	39.0	38.1	39.6
2. 約3割増加した	15.3	13.5	16.5	17.3	15.6	18.5	18.8	17.6	19.6
3. ほぼ同じ(変動は1割未満)	37.2	42.9	33.6	17.3	20.4	15.4	32.1	35.3	30.1
4. 約3割減少した	2.8	3.5	2.4	3.9	4.2	3.7	5.2	5.5	5.1
5. 5割以上減少した	3.2	3.1	3.3	5.4	4.5	5.9	4.8	3.5	5.7
N	744	289	455	744	289	455	744	289	455

表Ⅲ-C-2 【対象:労働者】本年1月のごく普通の一週間と比べたときの出社・出勤頻度

	3月			4-5月			6月		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1. 5割以上増加した	2.2	2.9	1.7	4.6	5.0	4.4	4.8	5.0	4.7
2. 約3割増加した	2.4	3.4	1.7	1.9	1.3	2.3	2.4	1.7	2.9
3. ほぼ同じ(変動は1割未満)	53.2	54.6	52.2	29.4	31.5	28.0	41.1	40.8	41.4
4. 約3割減少した	12.4	13.4	11.7	17.0	17.2	16.9	18.2	20.2	16.9
5. 5割以上減少した	29.8	25.6	32.7	47.0	45.0	48.4	33.4	32.4	34.1
N	581	238	343	581	238	343	581	238	343

表Ⅲ-C-3 本年1月のごく普通の一週間と比べたときの公共交通機関の利用頻度

	3月			4-5月			6月		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1. 5割以上増加した	1.2	1.7	0.9	2.0	2.1	2.0	2.7	2.8	2.6
2. 約3割増加した	0.9	1.0	0.9	1.3	2.4	0.7	1.2	1.7	0.9
3. ほぼ同じ(変動は1割未満)	41.3	46.7	37.8	25.9	28.0	24.6	33.2	37.7	30.3
4. 約3割減少した	12.6	14.9	11.2	11.7	11.4	11.9	15.6	16.3	15.2
5. 5割以上減少した	44.0	35.6	49.2	59.0	56.1	60.9	47.3	41.5	51.0
N	744	289	455	744	289	455	744	289	455

表Ⅲ-C-4 本年1月のごく普通の一週間と比べたときの公園、広場、海岸などに行く頻度

	3月			4-5月			6月		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1. 5割以上増加した	1.2	1.0	1.3	1.7	1.4	2.0	1.2	1.7	0.9
2. 約3割増加した	1.6	2.4	1.1	2.3	2.4	2.2	2.2	2.1	2.2
3. ほぼ同じ(変動は1割未満)	28.9	34.9	25.1	20.6	22.8	19.1	25.5	30.1	22.6
4. 約3割減少した	14.7	15.9	13.8	13.6	17.3	11.2	17.2	19.0	16.0
5. 5割以上減少した	53.6	45.7	58.7	61.8	56.1	65.5	53.9	47.1	58.2
N	744	289	455	744	289	455	744	289	455

表Ⅲ-C-5 本年1月のごく普通の一週間と比べたときのスーパーやドラッグストアの利用頻度

	3月			4-5月			6月		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1. 5割以上増加した	3.0	3.8	2.4	2.3	3.1	1.8	2.0	2.4	1.8
2. 約3割増加した	5.0	5.9	4.4	7.0	6.2	7.5	6.0	5.9	6.2
3. ほぼ同じ（変動は1割未満）	38.2	43.9	34.5	29.2	36.3	24.6	37.5	45.3	32.5
4. 約3割減少した	24.7	21.8	26.6	27.3	25.3	28.6	28.0	23.2	31.0
5. 5割以上減少した	29.2	24.6	32.1	34.3	29.1	37.6	26.5	23.2	28.6
N	744	289	455	744	289	455	744	289	455

表Ⅲ-C-6 本年1月のごく普通の一週間と比べたときの外食(カフェを含む)頻度

	3月			4-5月			6月		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1. 5割以上増加した	0.3	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.5	0.3	0.7
2. 約3割増加した	0.7	1.4	0.2	0.9	1.7	0.4	1.2	2.4	0.4
3. ほぼ同じ（変動は1割未満）	21.0	25.3	18.2	11.8	13.1	11.0	17.5	21.1	15.2
4. 約3割減少した	16.9	18.7	15.8	14.8	16.6	13.6	19.5	20.4	18.9
5. 5割以上減少した	61.2	54.3	65.5	71.9	67.8	74.5	61.3	55.7	64.8
N	744	289	455	744	289	455	744	289	455

表Ⅲ-C-7 本年1月のごく普通の一週間と比べたときの娯楽(ショッピングや映画館など)の頻度

	3月			4-5月			6月		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1. 5割以上増加した	1.3	1.7	1.1	1.6	2.4	1.1	1.2	1.7	0.9
2. 約3割増加した	1.1	2.1	0.4	1.2	2.1	0.7	1.3	2.8	0.4
3. ほぼ同じ（変動は1割未満）	20.0	24.6	17.1	13.3	15.9	11.6	17.2	19.4	15.8
4. 約3割減少した	11.6	12.1	11.2	9.0	9.7	8.6	14.0	15.9	12.7
5. 5割以上減少した	66.0	59.5	70.1	74.9	69.9	78.0	66.3	60.2	70.1
N	744	289	455	744	289	455	744	289	455

IV. 労働者の集計結果

※労働者：就労状況について「1 会社・団体の経営者・役員」、「2 正社員・職員」、「3 契約・派遣・嘱託社員・職員」、「4 パート・アルバイト」、「5 自営業・フリーランス」と回答した方、および、これ以外の回答者のうちでアルバイトに従事している方

表IV- 1 年代・性別

	全体	男性	女性
1 18-19 歳	0.2	0.4	0.0
2 20 代	37.2	37.4	37.0
3 30 代	42.9	42.0	43.4
4 40 代	14.1	13.0	14.9
5 50 代	5.3	7.1	4.1
6 60 代	0.3	0.0	0.6
N	581	238	343

表IV- 2 国籍・在留資格

	全体	経営者・役員	正社員・職員	契約・派遣・嘱託	パート・アルバイト	自営業・フリーランス
日本国籍	6.0	20.0	7.0	3.4	2.1	6.7
1 永住者・永住者の配偶者等	24.6	40.0	23.7	25.0	18.4	43.3
2 定住者	1.9	0.0	1.7	1.1	1.4	10.0
3 日本人の配偶者等	5.0	5.7	1.7	5.7	9.9	10.0
4 家族滞在	3.8	2.9	0.3	3.4	9.9	10.0
5 留学	13.6	0.0	0.0	0.0	56.0	0.0
6 技術・人文知識・国際業務	29.4	2.9	49.5	27.3	0.7	10.0
7 技能	1.4	0.0	0.3	6.8	0.7	0.0
8 技能実習	4.5	0.0	2.4	21.6	0.0	0.0
9 経営・管理	1.9	25.7	0.0	0.0	0.0	6.7
10 特定活動	0.7	0.0	0.0	3.4	0.7	0.0
11 高度専門職	4.8	2.9	8.7	1.1	0.0	3.3
12 医療	1.9	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0
13 教授・研究・教育	0.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
15 その他	0.2	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
N	581	35	287	88	141	30

表IV- 3 最終学歴（学生の場合は在学状況）

	全体	経営者・役員	正社員・職員	契約・派遣・嘱託	パート・アルバイト	自営業・フリーランス
1 中学校以下	4.3	5.7	2.1	9.1	2.8	16.7
2 高校	9.6	8.6	3.5	22.7	12.1	20.0
3 大学・短大・専門学校など	52.3	48.6	55.1	48.9	49.6	53.3
4 大学院	33.7	37.1	39.4	19.3	35.5	10.0
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ- 4 日本語スキル

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1 ネイティブレベル	9.1	20.0	10.8	9.1	4.3	3.3
2 ビジネスレベル	36.1	37.1	50.9	23.9	15.6	26.7
3 日常会話レベル	44.4	34.3	33.4	36.4	70.9	60.0
4 あまり話せない	9.3	8.6	4.5	28.4	7.1	10.0
5 全く話せない	1.0	0.0	0.3	2.3	2.1	0.0
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ- 5 在日年数

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1 1年未満	2.9	0.0	1.7	4.5	5.7	0.0
2 1～2年	13.9	0.0	7.3	27.3	25.5	0.0
3 3～5年	19.1	14.3	15.0	15.9	31.9	13.3
4 6～9年	23.2	8.6	32.8	10.2	17.7	13.3
5 10～19年	31.8	48.6	33.4	35.2	17.0	56.7
6 20年以上	9.0	28.6	9.8	6.8	2.1	16.7
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ- 6 仕事における不特定多数との接触の必要性

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1 有	41.8	57.1	34.5	29.5	58.2	53.3
2 無	44.6	20.0	53.3	56.8	27.7	33.3
3 わからない	13.6	22.9	12.2	13.6	14.2	13.3
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ- 7 昨年の世帯収入

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1 300万円未満	27.0	11.4	16.7	42.0	44.7	16.7
2 300～500万円未満	27.7	17.1	36.9	17.0	18.4	26.7
3 500～700万円未満	13.6	11.4	16.0	17.0	5.7	20.0
4 700～900万円未満	8.3	2.9	11.5	5.7	5.7	3.3
5 900万円以上	8.3	34.3	9.4	2.3	2.8	10.0
6 わからない・回答したくない	15.1	22.9	9.4	15.9	22.7	23.3
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ- 8 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの出勤頻度： 3 月

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1. 5 割以上増加した	2.2	2.9	1.4	4.5	2.1	3.3
2. 約 3 割増加した	2.4	2.9	2.4	1.1	2.8	3.3
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	53.2	45.7	58.5	61.4	41.1	43.3
4. 約 3 割減少した	12.4	14.3	12.5	10.2	12.8	13.3
5. 5 割以上減少した	29.8	34.3	25.1	22.7	41.1	36.7
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ- 9 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの出勤頻度： 4-5 月

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1. 5 割以上増加した	4.6	0.0	6.6	3.4	2.8	3.3
2. 約 3 割増加した	1.9	0.0	1.0	3.4	2.8	3.3
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	29.4	42.9	27.5	34.1	27.0	30.0
4. 約 3 割減少した	17.0	14.3	17.1	19.3	17.0	13.3
5. 5 割以上減少した	47.0	42.9	47.7	39.8	50.4	50.0
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ- 10 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの出勤頻度： 6 月

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1. 5 割以上増加した	4.8	0.0	5.2	4.5	5.0	6.7
2. 約 3 割増加した	2.4	0.0	2.4	2.3	2.8	3.3
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	41.1	42.9	41.5	46.6	35.5	46.7
4. 約 3 割減少した	18.2	14.3	17.4	22.7	18.4	16.7
5. 5 割以上減少した	33.4	42.9	33.4	23.9	38.3	26.7
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ-11 新型コロナウイルス感染症に関連した、自身の雇用や収入に関わる影響

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1 大いに影響があった	34.6	68.6	23.3	33.0	45.4	56.7
2 ある程度影響があった	36.3	28.6	34.1	44.3	36.9	40.0
3 あまり影響はなかった	20.3	2.9	28.9	18.2	12.1	3.3
4 全く影響はなかった	8.4	0.0	13.6	2.3	5.7	0.0
5 わからない	0.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ-11-1 新型コロナウイルス感染症に関連した、自身の雇用や収入に関わる影響（国籍・在留資格別）

	日本 国籍	日本人 の配偶 者等	永住者・ 永住者の 配偶者等	家族滞 在	高度専 門職	技術・人 文知識・ 国際業務	技能実 習	留学	その他
1 大いに影響があった	31.4	51.7	35.7	36.4	14.3	29.2	30.8	46.8	35.4
2 ある程度影響があった	31.4	24.1	37.8	50.0	35.7	34.5	50.0	38.0	33.3
3 あまり影響はなかった	17.1	13.8	20.3	9.1	32.1	26.3	15.4	12.7	18.8
4 全く影響はなかった	20.0	10.3	6.3	4.5	17.9	9.9		2.5	10.4
5 わからない							3.8		2.1
N	35	29	143	22	28	171	26	79	48

表Ⅳ-12 【対象：表Ⅳ- 11 において「全く影響はなかった」以外を回答した方】 具体的な影響（複数回答）

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1. 会社からの解雇	2.3	0.0	1.6	1.2	4.5	3.3
2. 期間満了に伴う雇い止め	1.9	0.0	0.4	7.0	2.3	0.0
3. 勤め先の休廃業・倒産に伴う失業	4.5	5.7	3.2	5.8	6.8	0.0
4. 経営する事業が休廃業・倒産	3.2	22.9	0.4	1.2	3.8	6.7
5. 雇用・就業形態の変更	3.6	2.9	2.0	5.8	6.0	0.0
6. 業務内容の変更	17.1	34.3	18.5	16.3	12.8	6.7
7. 勤務日数や労働時間の減少	38.0	25.7	31.9	47.7	50.4	20.0
8. 勤務日数や労働時間の増加	3.2	0.0	2.8	7.0	3.0	0.0
9. 収入の減少	48.1	54.3	35.5	52.3	63.2	66.7
10. 収入の増加	1.7	2.9	1.2	1.2	2.3	3.3
11. 自発的な退職	3.2	2.9	2.0	2.3	6.8	0.0
12. その他	25.6	17.1	33.9	18.6	18.0	20.0
N	532	35	248	86	133	30

表Ⅳ-13 通常月の月収と比較したときの、4月の月収額の変化

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
1 9割以上減少した	10.5	11.4	4.2	10.2	21.3	20.0
2 7～8割減少した	5.5	11.4	2.1	2.3	12.8	6.7
3 5～6割減少した	11.9	28.6	4.9	14.8	17.7	23.3
4 3～4割減少した	10.3	14.3	6.6	21.6	9.2	13.3
5 1～2割減少した	9.1	5.7	9.1	9.1	10.6	6.7
6 ほぼ同じ(変動は1割未満)	50.4	28.6	69.3	42.0	27.0	30.0
7 1～2割増加した	1.7	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0
8 3～4割増加した	0.2	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
9 5割以上増加した	0.3	0.0	0.3	0.0	0.7	0.0
N	581	35	287	88	141	30

表Ⅳ-13-1 通常月の月収と比較したときの、4月の月収額の変化（国籍・在留資格別）

	日本 国籍	日本人 の配偶 者等	永住者・ 永住者の 配偶者等	家族滞 在	高度専 門職	技術・人 文知識・ 国際業務	技能実 習	留学	その他
1 9割以上減少した	2.9	34.5	11.2	4.5		7.0		19.0	12.5
2 7～8割減少した	5.7	3.4	6.3	9.1		2.9		15.2	2.1
3 5～6割減少した	11.4	10.3	10.5	36.4		7.0	11.5	20.3	16.7
4 3～4割減少した	8.6	6.9	14.0	18.2	3.6	5.3	46.2	5.1	10.4
5 1～2割減少した	2.9	3.4	7.0	4.5	7.1	11.7	19.2	15.2	2.1
6 ほぼ同じ	57.1	41.4	49.0	27.3	89.3	63.7	23.1	22.8	56.3
7 1～2割増加した	11.4		1.4			2.3			
8 3～4割増加した								1.3	
9 5割以上増加した			0.7					1.3	
N	35	29	143	22	28	171	26	79	48

表Ⅳ-14 在宅勤務・テレワークの実施（「実施した」の割合）

	全体	経営者・ 役員	正社員・ 職員	契約・派 遣・嘱託	パート・ アルバイト	自営業・ フリーランス
2月	15.3	37.1	14.3	8.0	15.6	20.0
3月	25.8	48.6	30.0	14.8	19.1	23.3
4-5月	51.1	62.9	64.8	36.4	33.3	33.3
6月	38.4	42.9	49.1	30.7	22.7	26.7
N	581	35	287	88	141	30

V. 留学生の集計結果

※留学生:在留資格が「留学」である回答者

表V- 1 年代・性別

	全体	男性	女性
1 18-19 歳	2.6	4.3	1.2
2 20 代	86.5	81.2	90.7
3 30 代	11.0	14.5	8.1
ケース数	155	69	86

表V- 2 在学段階

	ケース数	パーセント
大学・短大・専門学校	64	41.3
大学院	91	58.7
合 計	155	100.0

表V- 3 婚姻状況

	ケース数	パーセント
未婚・離死別	141	91.0
既婚	14	9.0
合 計	155	100.0

表V- 4 日本語スキル

	ケース数	パーセント
1 ネイティブレベル	2	1.3
2 ビジネスレベル	31	20.0
3 日常会話レベル	109	70.3
4 あまり話せない	10	6.5
5 全く話せない	3	1.9
合 計	155	100.0

表V- 5 在日年数

	ケース数	パーセント
1 1 年未満	18	11.6
2 1～2 年	56	36.1
3 3～5 年	65	41.9
4 6～9 年	15	9.7
5 10～19 年	1	0.6
合 計	155	100.0

表 V- 6 現在の居住地域

	ケース数	パーセント
1 北海道	1	0.6
2 東北	56	36.1
3 南関東	39	25.2
4 北関東・甲信	2	1.3
5 北陸	2	1.3
6 東海	19	12.3
7 近畿	22	14.2
8 中国	1	0.6
10 九州	12	7.7
判断不能	1	0.6
合 計	155	100.0

表 V- 7 アルバイトの従事状況

	ケース数	パーセント
1 有	79	51.0
2 無	66	42.6
無回答	10	6.5
合 計	155	100.0

表 V- 8 新型コロナウイルス感染症に関連した、自身の雇用や収入にかかわる影響

	ケース数	パーセント
1 大いに影響があった	63	40.6
2 ある程度影響があった	57	36.8
3 あまり影響はなかった	24	15.5
4 全く影響はなかった	10	6.5
5 わからない	1	0.6
合 計	155	100.0

表 V- 9 【対象:「全く影響はなかった」以外を回答した方】 具体的な影響（複数回答）

(N=145)	ケース数	パーセント
1. 会社からの解雇	3	2.1
2. 期間満了に伴う失業	4	2.8
3. 勤め先の休廃業・倒産に伴う失業	9	6.2
4. 経営する事業が休廃業・倒産	1	0.7
5. 雇用・就業形態の変更	4	2.8
6. 業務内容の変更	12	8.3
7. 勤務日数や労働時間の減少	57	39.3
8. 勤務日数や労働時間の増加	2	1.4
9. 収入の減少	77	53.1
10. 収入の増加	2	1.4
11. 自発的な退職	7	4.8
12. その他	46	31.7

表 V- 10 通常月の月収と比較したときの、4 月の月収額の変化

	ケース数	パーセント
1 9 割以上減少した	16	18.4
2 7～8 割減少した	13	14.9
3 5～6 割減少した	18	20.7
4 3～4 割減少した	5	5.7
5 1～2 割減少した	13	14.9
6 ほぼ同じ(変動は 1 割未満)	20	23.0
8 3～4 割増加した	1	1.1
9 5 割以上増加した	1	1.1
合 計	87	100.0

表 V- 11 「学生支援緊急給付金」の申請について

	ケース数	パーセント
1 この制度を知らない	16	10.3
2 申請する予定はない	34	21.9
3 申請したい、審査は通ると思う	13	8.4
4 申請したい、審査が通るはわからない	57	36.8
5 その他	13	8.4
未回答	22	14.2
合 計	155	100.0

表 V- 12 日本と中国を自由に移動できないことが生活に与えた影響

	ケース数	パーセント
1 大いに影響があった	58	37.4
2 ある程度影響があった	48	31.0
3 あまり影響はなかった	31	20.0
4 全く影響はなかった	17	11.0
5 わからない	1	0.6
合 計	155	100.0

表 V- 13 日本で生活した期間に、外国人を理由に差別された経験

	ケース数	パーセント
1 有	56	36.1
2 無	66	42.6
3 わからない・答えたくない	33	21.3
合 計	155	100.0

表 V- 14 新型コロナウイルスに関連して、外国人を理由に差別された経験

	ケース数	パーセント
1 有	32	20.6
2 無	98	63.2
3 わからない・答えたくない	25	16.1
合 計	155	100.0

表 V- 15 新型コロナウイルス感染拡大に対する不安感

	1 月下旬	2 月	3 月	4-5 月	6 月
1 とても不安だった	14.2	24.5	27.1	31.0	16.8
2 やや不安だった	23.9	23.9	37.4	33.5	32.3
3 どちらともいえない	35.5	29.0	21.3	21.3	35.5
4 あまり不安ではなかった	15.5	15.5	9.0	8.4	9.0
5 不安ではなかった	11.0	7.1	5.2	5.8	6.5
N	155	155	155	155	155

表 V- 16 本年 1-6 月における感情（複数回答）

	N=155	ケース数	パーセント
1. 中国における感染拡大に無力感を感じた		92	59.4
2. 世界で発生するアジア人に対する差別事件に憤りを感じた		90	58.1
3. 感染されることに恐怖を感じた		86	55.5
4. 日本におけるコロナの感染拡大に対して申し訳ない		30	19.4
5. マスクを購入できない日本人に対して申し訳ない		54	34.8
6. 華人であることを知られたくない		23	14.8
7. 公共の場で中国語を使用したくない		23	14.8
8. 外出自粛にストレスを感じた		46	29.7
9. 緊急事態宣言期間中によく孤独感を感じる		40	25.8
10. これからの景気を悲観している		66	42.6
11. 当てはまるものはない		16	10.3

表 V- 17 マスクなどのコロナ対策用品の状況（複数回答）

	N=155	ケース数	パーセント
1. 家にストックがあったため、コロナ対策用品の不足にあまり困っていなかった		76	49.0
2. マスクなどのコロナ対策用品が品薄になっていたため、購入に困っていた		31	20.0
3. 1 月に中国でコロナが流行し始めた際、予備のコロナ対策用品を購入した		44	28.4
4. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品を送ってほしいと依頼された		42	27.1
5. 自ら中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品は必要かと聞いた		59	38.1
6. 中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品を送った		53	34.2
7. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品は必要かと聞かれた		6	3.9
8. 中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品を送ってもらうように依頼した		52	33.5
9. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品を送ってもらった		35	22.6
10. 当てはまるものはない		8	5.2

表 V- 18 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの在宅時間

	3 月	4-5 月	6 月
1. 5 割以上増加した	51.0	64.5	43.9
2. 約 3 割増加した	12.3	16.1	19.4
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	32.3	12.9	28.4
4. 約 3 割減少した	1.3	3.2	2.6
5. 5 割以上減少した	3.2	3.2	5.8
ケース数	155	155	155

表 V- 19 【対象:アルバイト従事者】本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの出勤頻度

	3 月	4-5 月	6 月
1. 5 割以上増加した	1.3	1.3	2.5
2. 約 3 割増加した	2.5	2.5	2.5
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	45.6	25.3	36.7
4. 約 3 割減少した	17.7	21.5	22.8
5. 5 割以上減少した	32.9	49.4	35.4
ケース数	79	79	79

表 V- 20 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの公共交通機関の利用頻度

	3 月	4-5 月	6 月
1. 5 割以上増加した	0.6	0.6	1.9
2. 約 3 割増加した	1.3	3.9	2.6
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	38.7	25.2	32.3
4. 約 3 割減少した	14.2	12.3	20.6
5. 5 割以上減少した	45.2	58.1	42.6
ケース数	155	155	155

表 V- 21 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの公園、広場、海岸などに行く頻度

	3 月	4-5 月	6 月
1. 5 割以上増加した	1.9	0.6	0.6
2. 約 3 割増加した	0.0	1.9	2.6
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	37.4	31.0	34.8
4. 約 3 割減少した	13.5	12.9	20.0
5. 5 割以上減少した	47.1	53.5	41.9
ケース数	155	155	155

表 V- 22 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの、スーパーやドラッグストアの利用頻度

	3 月	4-5 月	6 月
1. 5 割以上増加した	3.9	3.2	1.9
2. 約 3 割増加した	3.2	5.2	7.1
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	44.5	35.5	43.9
4. 約 3 割減少した	23.9	28.4	28.4
5. 5 割以上減少した	24.5	27.7	18.7
ケース数	155	155	155

表 V- 23 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの外出（カフェを含む）頻度

	3 月	4-5 月	6 月
1. 5 割以上増加した	0.0	0.0	0.0
2. 約 3 割増加した	1.3	2.6	0.6
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	31.0	21.9	3.2
4. 約 3 割減少した	15.5	20.0	31.0
5. 5 割以上減少した	52.3	55.5	23.9
ケース数	155	155	155

表 V- 24 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの娯楽（ショッピングや映画館など）の頻度

	3 月	4-5 月	6 月
1. 5 割以上増加した	0.0	0.6	0.6
2. 約 3 割増加した	1.9	1.9	2.6
3. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	32.3	25.8	29.7
4. 約 3 割減少した	9.7	9.7	16.1
5. 5 割以上減少した	56.1	61.9	51.0
ケース数	155	155	155

VI. 調 査 票

A◆ あなたの基本情報について教えてください。

A-1. あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性

A-2. あなたの年齢を教えてください。

A-3. あなたの国籍について教えてください。

1. 中国(香港・マカオ・台湾を含む)
2. 日本(中国からの帰化)
3. その他

A-3-1. 【本質問の対象者は A-3 で 1 と 3 と回答した方】あなたの在留資格を教えてください。

1. 永住者・永住者の配偶者等
2. 定住者
3. 日本人の配偶者等
4. 家族滞在
5. 留学
6. 技術・人文知識・国際業務
7. 技能
8. 技能実習
9. 経営・管理
10. 特定活動
11. 高度専門職
12. 医療
13. 教授・研究・教育
14. 文化活動
15. その他

A-4. あなたの最終学歴について教えてください。

(中退・在学中の場合は最終在学状況を記入してください。)

1. 中学校以下
2. 高校
3. 大学・短大・専門学校など
4. 大学院

A-5. あなたの婚姻状況を教えてください。

1. 未婚
2. 既婚(同棲を含む)・配偶者は中国人
3. 既婚(同棲を含む)・配偶者は日本人
4. 既婚(同棲を含む)・配偶者はその他の国地域の方
5. 離婚・死別

A-6. あなたに子どもがいますか？

1. 有
2. 無

A-7. あなたを含めて同居家族は何人いますか？

_____人

A-7-1. あなたと同居されている方において、下記の方はいますか？(複数選択)

1. 65 歳以上の高齢者
2. 未就学児
3. 小学生
4. 中学生・高校生
5. 高血圧や糖尿病患者
6. 上記に該当しない

A-8. あなたの日本語スキルを教えてください。

1. ネイティブレベル
2. ビジネスレベル
3. 日常会話レベル
4. あまり話せない
5. 全く話せない

A-9. 在日年数について教えてください。(一年未満の方は「0」と記入してください。)

_____年

A-10. あなた就業形態について教えてください。

- 1 会社・団体の経営者・役員
- 2 正社員・職員
- 3 契約・派遣・嘱託社員・職員
- 4 パート・アルバイト
- 5 自営業・フリーランス
- 6 専業主婦・主夫
- 7 学生
- 8 無職
- 9 その他

A-10-1. 【本質問の対象者は A-10 で 6-9 と回答した方】アルバイトはしていますか？

1. 有
2. 無

A-10-2. 【本質問の対象者は A-10 で 1-6 および A-10-1 で 1 と回答した方】お仕事では不特定多数の人と接する必要がありますか？

1. 有
2. 無
3. わからない

A-11. 昨年度の世帯収入について教えてください。

- 1 300 万円未満
- 2 300～500 万円未満
- 3 500～700 万円未満
- 4 700～900 万円未満
- 5 900 万円以上
- 6 わからない・回答したくない

A-12. 2003 年 SARS(重症急性呼吸器症候群)が中国で流行した際、あなたは主にどちらにお住まいでしたか？

1. 中国
2. 日本
3. その他

A-13. あなたの居住地域を教えてください。

(47 都道府県からの選択)

B ◆ 今年コロナ流行期間中における、あなたの行動を思い出してください。

下記の 3 つの期間において、本年の 1 月のごく普通の一週間と比べたとき、あなたの行動は変わりましたか？

3 月における社会情勢：WHO がパンデミックを宣言、東京オリンピックの延期が決定

4-5 月における社会情勢：緊急事態宣言が発令

6 月における社会情勢：日常生活を取り戻しつつある、県をまたぐ移動も自由に

B-1. 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの在宅時間：

(最も近い項目を選んでください)

	5 割以上増加した	約 3 割増加した	ほぼ同じ (変動は 1 割未満)	約 3 割減少した	5 割以上減少した
3 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%
4-5 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%
6 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%

B-2. 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの出社・出勤頻度：

(最も近い項目を選んでください)

	5 割以上増加した	約 3 割増加した	ほぼ同じ (変動は 1 割未満)	約 3 割減少した	5 割以上減少した
3 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%
4-5 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%
6 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%

B-3. 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの公共交通機関の利用頻度：

(最も近い項目を選んでください)

	5 割以上増加した	約 3 割増加した	ほぼ同じ (変動は 1 割未満)	約 3 割減少した	5 割以上減少した
3 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%
4-5 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%
6 月	+50%	+30%	+10% ~ -10%	-30%	-50%

B-4. 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの公園、広場、海岸などに行く頻度：

(最も近い項目を選んでください)

	5 割以上 増加した	約 3 割増加した	ほぼ同じ (変動は 1 割未満)	約 3 割減少し た	5 割以上 減少した
3 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%
4-5 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%
6 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%

B-5. 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときのスーパーやドラッグストアの利用頻度：

(最も近い項目を選んでください)

	5 割以上 増加した	約 3 割増加した	ほぼ同じ (変動は 1 割未満)	約 3 割減少し た	5 割以上 減少した
3 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%
4-5 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%
6 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%

B-6. 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの外出(カフェを含む)頻度：

(最も近い項目を選んでください)

	5 割以上 増加した	約 3 割増加した	ほぼ同じ (変動は 1 割未満)	約 3 割減少し た	5 割以上 減少した
3 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%
4-5 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%
6 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%

B-7. 本年 1 月のごく普通の一週間と比べたときの娯楽(ショッピングや映画館など)の頻度：

(最も近い項目を選んでください)

	5 割以上 増加した	約 3 割増加した	ほぼ同じ (変動は 1 割未満)	約 3 割減少し た	5 割以上 減少した
3 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%
4-5 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%
6 月	+50%	+30%	+10% ～ -10%	-30%	-50%

C ◆ 新型コロナウイルスがあなたに与えた影響について教えてください。

C-1. 新型コロナウイルス感染症に関連した、自身の雇用や収入に関わる影響はありましたか？

1. 大いに影響があった
2. ある程度影響があった
3. あまり影響はなかった
4. 全く影響はなかった
5. わからない

C-2. 【本質問の対象者は C-1 で 4 以外を回答した方】自身の雇用や収入にどのような影響がありましたか？当てはまるものを選んでください。（複数回答）

1. 会社からの解雇
2. 期間満了に伴う失業
3. 勤め先の休廃業・倒産に伴う失業
4. 経営する事業が休廃業・倒産
5. 雇用・就業形態の変更
6. 業務内容の変更
7. 勤務日数や労働時間の減少
8. 勤務日数や労働時間の増加
9. 収入の減少
10. 収入の増加
11. 自発的な退職
12. 当てはまるものはない

C-3. 通常の月収と比較し、4 月の月収額はどのぐらい変化しましたか？

1. 9 割以上減少した
2. 7～8 割減少した
3. 5～6 割減少した
4. 3～4 割減少した
5. 1～2 割減少した
6. ほぼ同じ（変動は 1 割未満）
7. 1～2 割増加した
8. 3～4 割増加した
9. 5 割以上増加した

C-4. あなたの勤め先は在宅勤務・テレワークを実施していますか？

	1	2
2 月	はい	いいえ
3 月	はい	いいえ
4-5 月	はい	いいえ
6 月	はい	いいえ

C-5. 新型コロナウイルス感染拡大に対する、あなたの不安感についてお尋ねします。

	とても不安だった	やや不安だった	どちらともいえない	あまり不安ではなかった	不安ではなかった
1 月下旬	1	2	3	4	5
2 月	1	2	3	4	5
3 月	1	2	3	4	5
4-5 月	1	2	3	4	5
6 月	1	2	3	4	5

C-5-1. 最も不安だと感じたことについて教えてください。(スキップ可能)

C-6-1. 日本で生活した期間に、外国人を理由に差別された経験はありますか？

1. 有
2. 無
3. わからない・答えたくない

C-6-2. 新型コロナウイルスに関連して、外国人を理由に差別された経験はありますか？

1. 有
2. 無
3. わからない・答えたくない

C-6-2-1. 【本質問の対象者は C-5-1 で 1 と回答した方】当時の状況について教えてください。(スキップ可能)

C-7. 本年の 1 月から 6 月までの期間において、下記の思いをしたことがありますか？当てはまるものを選んでください。(複数回答)

1. 中国における感染拡大に無力感を感じた
2. 世界で発生するアジア人に対する差別事件に憤りを感じた
3. 感染されることに恐怖を感じた
4. 日本におけるコロナの感染拡大に対して申し訳ない
5. マスクを購入できない日本人に対して申し訳ない
6. 華人であることを知られたくない
7. 公共の場で中国語を使用したくない
8. 外出自粛にストレスを感じた
9. 緊急事態宣言期間中によく孤独感を感じた
10. これからの景気を悲観している
11. 当てはまるものはない

C-8. 本年 1 月から 6 月までの期間において、マスクなどのコロナ対策用品の状況についてお尋ねします。当てはまるものを選んでください。(複数回答)

1. 家にストックがあったため、コロナ対策用品の不足にあまり困っていなかった
2. マスクなどのコロナ対策用品が品薄になっていたため、購入に困っていた
3. 1 月に中国でコロナが流行し始めた際、予備のコロナ対策用品を購入した
4. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品を送ってほしいと依頼された
5. 自ら中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品は必要かと聞いた
6. 中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品を送った
7. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品は必要かと聞かれた
8. 中国の家族友人にマスクなどのコロナ対策用品を送ってもらうように依頼した
9. 中国の家族友人からマスクなどのコロナ対策用品を送ってもらった
10. 当てはまるものはない

C-9. 2 月から日中間のフライトの多くが欠航となり、3 月に中国が日本の入国制限対象地域となりました。日本と中国を自由に移動できないことは、あなたの生活に影響を与えましたか？

1. 大いに影響があった
2. ある程度影響があった
3. あまり影響はなかった
4. 全く影響はなかった
5. わからない

C-10. 日本政府の 10 万円特別定額給付金を申請しましたか？申請する際、順調でしたか？

1. 申請していない、申請する予定もない
2. 申請する予定だが、まだ申請していない
3. 申請した、順調だった
4. 問題はあったが、申請できた
5. この制度を知らない
6. 申請は順調ではなかった

C-10-1. 文部科学省の「学生支援緊急給付金」制度は知っていますか？申請する予定はありますか？

1. この制度を知らない
2. 申請するつもりはない
3. 申請したい、審査は通ると思う
4. 申請したい、審査が通るかはわからない
5. その他

【追加設問】 C-11-1 2019 年 12 月に、将来は日本で生活したいと思っていましたか？

- 1 日本で生活したい
- 2 少しは日本で生活したい
- 3 どちらでも大丈夫
- 4 あまり日本で生活したくない
- 5 日本で生活したくない
- 6 わからない

【追加設問】 C-11-2 現在(2020 年 7 月)、将来は日本で生活したいと思いますか？

- 1 日本で生活したい
- 2 少しは日本で生活したい
- 3 どちらでも大丈夫
- 4 あまり日本で生活したくない
- 5 日本で生活したくない
- 6 わからない

自由記述:最後になりますが、新型コロナウイルスの影響に関するコメントがあれば、こちらでご記入ください。
